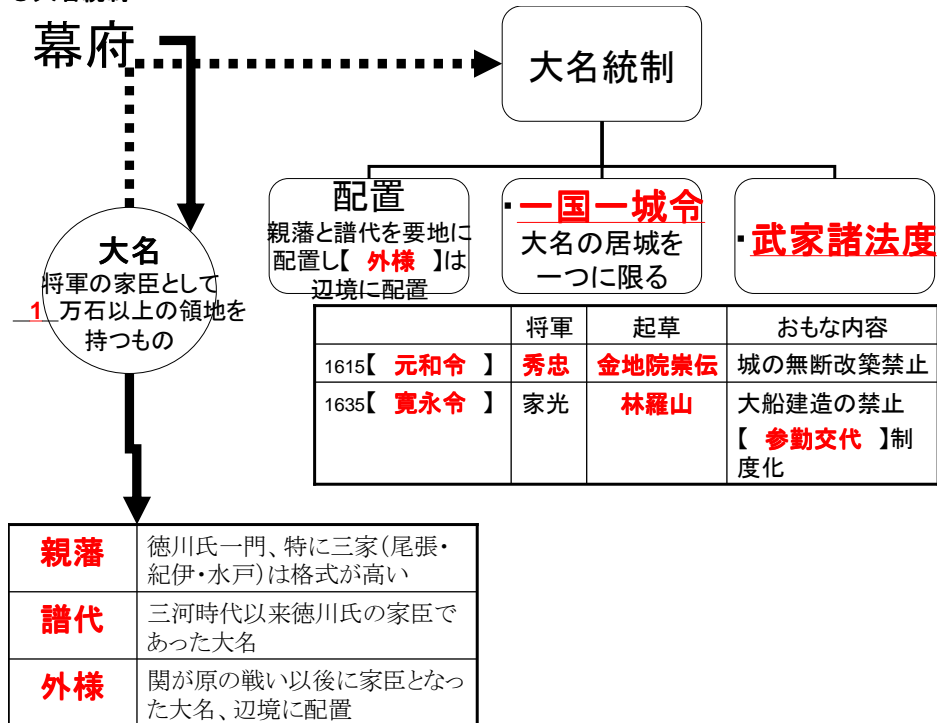


センター12 幕藩体制の成立

STAGE1 年表

将軍	国内
家康	1600 ✕ 関が原の戦い 起こる 東軍⇒家康、福島正則など 西軍⇒石田三成、小西行長など
	1603 征夷大將軍就任⇒江戸幕府成立
秀忠	1605 将軍職を⇒ 秀忠 に譲る ⇒家康、大御所として君臨 1612 直轄領に禁教令を發布 1613 全国に禁教令發布 1615 ✕ 大坂夏の陣 で豊臣秀頼滅ぼす

●大名統制



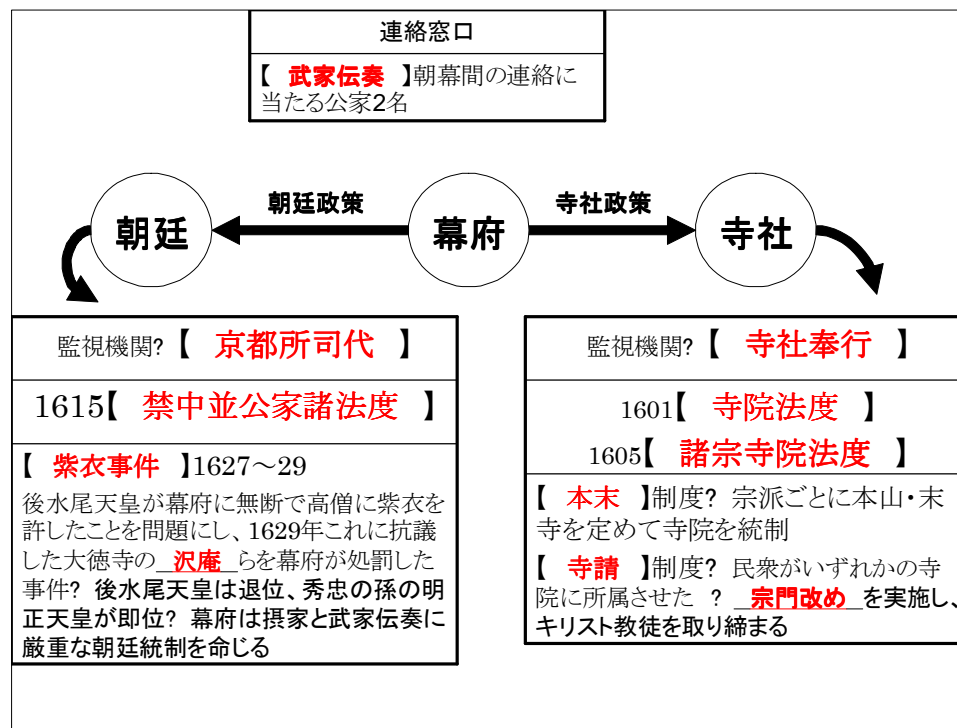
●江戸幕府の朝廷・寺社政策

【模試 2007】

江戸時代における幕府と朝廷について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 幕府と朝廷の連絡は、公家の中から幕府が任命した武家伝奏が担当した。
- ② 幕府は朝廷の統制のために、京都守護を設置した。
- ③ 禁中並公家諸法度で、天皇は学問を修めることができなかった。
- ④ 武家の官位の授与には、幕府の承諾が必要になった。

答⇒②京都守護は1185年に設置された鎌倉幕府の機関である。武家の官位はすべて幕府が決定し、天皇は決定に従った。



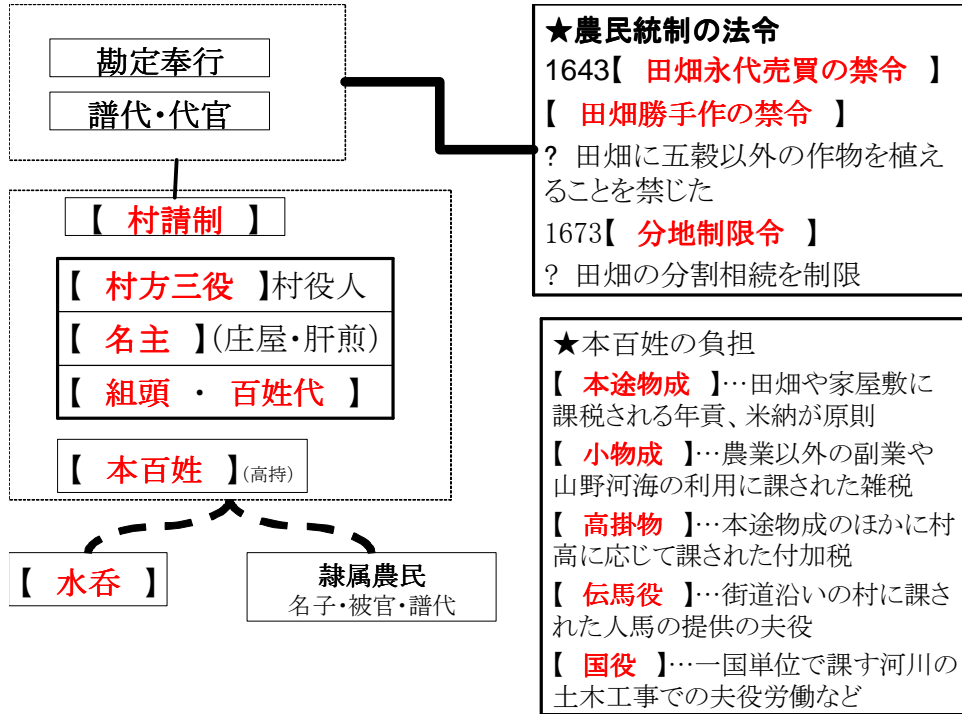
●江戸時代の農民統制

【2008-本】

「百姓からの年貢納入確保は重要な政治課題として位置づけられた」に関して、江戸時代の百姓の負担について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 田畑や屋敷地に賦課された本年貢(本途物成)は、すべて貨幣で納められた。
- ② 工事のための夫役を負担する小物成が、一国単位で課された。
- ③ 年貢は、村請制にもとづいて村の責任で納入された。
- ④ 山林・原野・河海の利用や収穫物に対して助郷役が課された。

答⇒③



江戸時代初期の外交

【2001-追】

「1635年には日本人の海外渡航と帰国を全面的に禁じていた」に関連して、江戸時代初期の外交について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 己酉約条によって、対馬の宗氏が朝鮮貿易を独占することになった。
- ② 幕府の許可を得たオランダ・イギリスが平戸に商館を設けた。
- ③ 伊達政宗は通商を求めて支倉常長をロシアへ派遣した。
- ④ 幕府は特定商人に糸割符仲間をつくらせ、輸入生糸の一括購入をはからせた。

答⇒③

将軍	大御所	事項
徳川家康		1600 オランダ船【リーフデ号】漂着 【ヤン=ヨーステン】(蘭)⇒家康の外交顧問 【ウィリアム=アダムス】=【三浦按針】(英)⇒家康の外交顧問 1604 【糸割符制度】⇒ポルトガルの生糸独占打破
徳川秀忠	家康	1609 オランダ、平戸に商館開設 1610 【田中勝介】がノビスパンへ、貿易交渉は失敗 1612 幕領に【禁教令】⇒翌年全国へ 1613 イギリス、平戸に商館開設 ⇒慶長遣欧使節…【伊達政宗】が【支倉常長】を欧州に派遣 1614 キリシタンをマニラ・マカオに追放(高山右近、マニラへ)
		1616 ヨーロッパ船の来航を長崎・平戸へ 1622 【元和の大殉教】⇒長崎で信者・宣教師 55 名虐殺
	忠秀	1623 イギリスが商館を閉鎖して撤退 1624 スペイン船来航禁止
徳川家光		1633 【奉書船】以外の海外渡航禁止(寛永十年禁令) 1635 【日本人の海外渡航と帰国の全面禁止】(寛永十二年禁令) 1637 *【島原の乱】 ⇒首領 天草四郎 ⇒老中【松平信綱】の鎮圧 1639 【ポルトガル船】の来航禁止(寛永十六年禁令) 1641 オランダ商館を長崎の【出島】へ

●朱印船貿易

【朱印船】⇒将軍の許可証である朱印状により渡航許可
【日本町】⇒アユタヤ・フェフォ・ツーランなど、【山田長政】(シャム王室で登用される)
貿易家:島津家久(薩摩)、有馬晴信・松前鎮信(肥前)
【角倉了以】・茶屋四郎次郎(京都)、【末次平蔵】(長崎)、末吉孫左衛門(摂津)

●鎖国体制(四つの口)

【長崎】オランダ人は【出島】に商館で交易。
オランダ商館長は【オランダ風説書】海外情報、中国人は【唐人屋敷】で交易
【対馬】⇒【宗氏】が外交の窓口 1609年【己酉約条】を結ぶ
朝鮮からは【通信使】来日
【薩摩】島津氏の統制⇒【琉球王国】の支配、将軍の代わりに【慶賀使】琉球国王の代わりに【謝恩使】を幕府に派遣
【松前】⇒松前氏の統制、【蝦夷地】の支配 商場知行制⇒場所請負制